

(団体名)

代表

(団体名)の感染リスク・感染予防対策の指針

平素より(団体名)の活動におきまして、多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。この度は当サークルの課外活動について感染予防策を徹底した上で再開させていただきたく、活動をする上で行う感染症対策を以下の通り策定します。

1 活動形態

- 場所：、またはオンライン
- 時間帯：毎週～、オンラインでは毎週～
- 部員：人(2021年度の新規入部者を含む)
- 活動内容：部室に集まって漫画やイラストの制作をする。五月祭や駒場祭、サークルオリエンテーション、コミックマーケットなどに向けて部誌の制作も行っており、対面で開催される際にはそれらの印刷も行う。コロナ禍においては通話アプリを用いてオンラインで集まっており、通話を繋ぎながら各自制作に取り組んでいる。また、共用部屋等の広い部屋を利用して、対面で実物を見ながら絵の練習をする機会を設けることもある。

2 感染症の観点から見た活動の特性

安全な点

漫画の執筆は個人作業であるため、身体的接触が少ない。

マスクの常時着用やパーティションの設置などの感染対策の下でも、活動に支障が出ない。

オンライン等でも可能な活動である。

危険な点

作成した印刷物や画材を共有する必要があるため、その際に身体接触の危険もある。

部室が狭いため密になりやすい。

長時間の作業になることが多い。

インカレサークルであるため対面での交流は他大生が加わる可能性があり、感染リスクがその分高まる。

3 上記を踏まえた上での感染症予防策

- 「本学の課外活動における新型コロナウイルス感染症感染防止対策」を遵守する。特に学外

者に対しては遵守を徹底させる。

- 各建物、管轄学部学科の規則を遵守する。
- 各種利用に関するガイドラインを遵守する。
- 対面での活動は最低限とし、活動とは別に少人数で会う機会も極力無くす。
- 対面での活動日の前後2週間、及び当日の検温とその記録を行う。
- 活動前に体調がすぐれない者は対面の活動には参加させず、オンラインでの活動のみにとどめる。
- 活動の参加人数は、学生会館委員会の定める各部屋の上限人数以内に収める。
- 参加者全員がCOCOA、MOCHAをインストール・利用する。
- 活動中は部員全員にマスクの着用及び手指の消毒を徹底させる。
- 活動中は換気を十分に行う。
- サークルの活動は基本オンライン上で行い、対面で行う場合は、その参加人数を部員同士の間隔が2m以上に保てる人数に限定する。
- 学外者のみでは活動は行わない。
- 対面活動後は、退出前に手指の消毒を行わせる。
- コンパなどの会食は当面の間禁止し、オンラインでの開催に限定する。
- 対面での活動後に参加者の中で感染、もしくは濃厚接触があった場合、駒場キャンパスと学生会館委員会の感染報告フォームで速やかに報告する。
- 感染・濃厚接触が発生した場合に学生支援課・学生会館委員会の支持に従って対処する。

4 参考資料

[1] 東京大学(2020) 「本学の課外活動における新型コロナウイルス感染症感染防止対策」、
<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400160639.pdf> (2021年9月23日閲覧)